

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**113**

令和5年(2023)
10月1日発行



「時の累積、23」 祝迫 正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
池田 大輔	
研く 究める	2～5
令和5年度 研修会	6～9
協会だより	10
老健に入るためのご案内	11
ぶらぶらが素敵 かごしま ¹³	12～13
こぼれおちたもののもの ³⁷	14
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	15
ろうけん広場	16
かごしまの食卓 秋編	17
介護用品あれこれ	18～19
あなたの地域の介護老人保健施設	20～24
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曽於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「時の累積、23」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

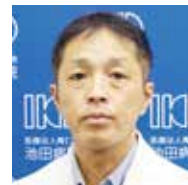
「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



春の建議

鹿児島県老人保健施設協会 理事

池田 大輔



令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は「5類感染症」に位置付けられました。5類感染症への移行に伴い、補助金による支援や公費負担制度の取り扱い、診療報酬の臨時・特例措置なども変更されました。コロナ禍の3年間、病院長として、また地域医師会の役員として最前線で戦ってきましたが、いよいよポストコロナ、アフターコロナの時代に入ったと言えます。

そのような中でこの4月から病院長職を譲り法人理事長となり、併せて老健協会の理事も拝命することとなりました。率直に申し上げて、これまでの私は老人保健施設の経営・運

営にそれほど時間を割くことができなかったこともあり、今まさに勉強中でもあります。

老健とは制度の趣旨の通り、病院を退院して在宅に戻るための中間施設との位置づけであり、在宅生活を支えるためには主たる介護者を含めたトータルなアセスメントを行わなければならぬと考えています。老健は病院ほどではありませんが、他の高齢者介護施設とは異なり専門性の高い多職種が配置されていますので、この多職種協働チームの連携による「退所後の生活づくりと家族ケア」が不可欠だと感じています。経営的には決して楽ではありませんが、やはり「あるべき姿」を目指して取り

組む決意です。

そのような中で令和6年春には介護報酬改定を含む「トリプル改定」が迫ってまいりました。介護保険の中心的な財源負担者である財務省は、本年5月29日の財政制度等審議会において、「歴史的転機における財政」題した「春の建議」を公表し、次のような意見を表明しています。

『介護老人保健施設は、居宅復帰を前提として急性期における機能回復のためのリハビリ等のサービスを提供する施設類型。こうした趣旨から短期的なリハビリを想定した人員配置・報酬体系となつている。しかし、足元で利用率が減少していることに加え、長期間の滞在者（特養等への入所待ち等）も相当程度いる状況である。利用者の実態や地域のニーズに即して、特養への移行や特養に近い形の人員配置・報酬体系を検討すべき』と。

令和6年・令和7年の変革期に上記のような皮肉に満ちた問題点・指摘事項解消できない老健施設は、コロナ後にさ

らなる制度改革の嵐が待ち受けている可能性があることを認識する必要がある、と意を強くした次第です。本建議に対しては、日医や老健協は挙つて反論を表明していますが、来年4月の診療報酬、介護報酬、障害者福祉サービス価格に関するトリプル改定では、かなりの影響を与えるものと考えられます。背景には、介護に關しては、その書き出しで『団塊の世代が85歳以上となる10年後に介護費用が激増することが確実視されている』点が課題を象徴していると言えます。

いずれにしても、医療費、介護費用の最大の負担者である財務省は、次回トリプル改定において、特に高齢者をめぐる医療・介護給付に關して極めて厳しい対応をしていくことが予想されます。このような考えには断固反対の姿勢を示しつつも、それらを踏まえた適切なマネジメントが求められていると考えます。

研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

新型コロナウイルス感染症と戦った18日間

多職種スタッフ全員で乗り切った日々の記録

介護老人保健施設 シルバーセンター光の里（日置市） 看護師長 吉富 智子

【はじめに】

日本では2020年1月14日1例目の感染者が発表されました。大都会での出来事のように感じていたものの、鹿児島県でも高齢者施設でのクラスターが起きている情報が次々にあり、私たちの施設でも換気・消毒・マスク着用・体調管理を徹底していました。勉強会の中でも感染対策シミュレーションを行い全職員に周知し感染防止に努めていました。しかし、連日のようにコロナ発生人数が前週を上回り何千人・何万人の発生と報道されており、毎日が緊張の日々でした。

今回、コロナ感染症のクラスターとなり苦しんだことの体験と事業所間の連携、頑張ったスタッフへの思いを発表します。

【経過】

令和4年8月16日にご入所。その日は食堂での食事をされたり、フロアで過ごされていました。8月17日ご家族がコロナに感染したと報告があり、すぐに個室対応としました。それから4日後、8月20日の朝、38度発熱あり抗原検査を施行し陽性反応。肺気腫の為に在宅酸素をされている方で、SPO2低下のため、緊急で他病院へ救急搬送となった。同日、他入所者様が発熱あり、転倒し骨折、併設の救急外来にてコロナ陽性確認され他病院へ救急搬送となる。その日に他入所者様全員と職員（その日の勤務者）の抗原検査施行、勤務者は全員陰性であったが、入所者様4名の陽性が確認された。また、その日に休みだった職員より

コロナ感染の報告があった。職員の家族が感染したと濃厚接触者と

なり休みの連絡も増えていた。

以前よりシミュレーションをしていたレッドゾーンとグリーンゾーンの区分けの開始となる。

【感染状況】

8月20日、入所者の感染は6名。うち2名は病院へ転送となる。4名の感染者は特に症状もなかったが徐々に発熱・食欲不振などの症状が出現した。それから徐々に増える感染者は最終16名となった。レッドゾーンの部屋を次々に増やしていく。職員の感染も少しずつ増えていく中、同系列の事業所から応援に来てくださりとても助かった。10日間を待ち9月6日で最終日となりレッドゾーンの解放となる。重症となるも死に至ることがなかったことにホッとした。



イエローゾーン



研修 感染症対策シミュレーション



ビニールカーテン

【それぞれの対応】

医師（施設長）

・保健所への発生届

・ご家族への報告、説明

・内服ラゲブリオの同意と処方

*ご家族へは入所時にリスクの説明や終末期の説明などしっかりと行っているため誰一人として苦情を言われる方はいなかった。

看護師長・介護長

・レッドゾーン勤務を看護師と

介護職員に依頼し承諾を得る。

・勤務体制の確認（24時間勤務）

・グリーンゾーンで働く職員への周知（全職員で乗り切ろう）

・同じグループ内の事業所へ応援要請

要請

*レッドゾーンで勤務可能な職員に8月20日当日、声をかけて看護師2名・介護士2名で始めた。しかし連日コロナ感染の広がりが止まらず介護職員を増やしていった。

*同系列の事業所へ応援依頼を

して、4名の応援があった。

*併設病院の総師長・施設長を中心に施設管理に依頼し、レッドゾーンの区分けを行う。

【考察】

今回の感染拡大は独歩や車いすで自由に動き回れる入所者の感染が原因だったと思われる。8月20日始まり毎日が祈るような思いであつたが無情にも、今日は何人感染した、誰が熱を出したなど泣きたくなるような気持ちで毎日続いた。レッドゾーンで働く職員への声かけで「これ以上増えるともう無理です」と涙ながらに話す職員がおり、精神的に無理が出ていることを確認し交代などを試みて対応した。グリーンゾーンで働く職員も少ない職員で業務をこなさなければならぬ体力勝負、職員の心のケアを行いながら頑張った18日間。まだまだ、感染が落ち着かない現状です。「もう二度とこんな思いはしたくない」これからの換気・マスク着用・手洗い消毒などの感染対策が一番大事であると再認識し努めます。



研 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

家で の 生活 を 続 け たい トイ レ 排 泄 に 向 け て の 取 り 組 み

介護老人保健施設 ナーシングホームひだまり（鹿屋市）

介護福祉士 上園 沙弥子
作業療法士 石躍 智博

【はじめに】

当施設では、超強化型老健を算定維持し続けるために日々、施設一丸となつて取り組んでいる。又、老健施設として、在宅復帰を推進するうえで、最も大きな障害要因と言われる排泄動作の獲得に向けて、入所初日から多職種協働での排泄支援強化に努めている。

今回、約2ヶ月間の入院生活によりADL低下・おむつ排泄となつた利用者の「前みたいに自分の事が出来たらいいな」という想いに寄り添い、排泄動作自立に向けた排泄支援計画を作成。

その結果、日中のトイレ排泄自立へ繋げることが出来た為、一連の経過に考察を加え報告する。

【症例紹介】

対象は84歳女性、要介護度4。認知症は無く、両変形性膝関節症により車椅子生活レベル。入院前はキヤスター付き椅子にて屋内移動され何とか自力排泄可能、屋外では杖、家族の両側介助で移動可能な状態であった。

令和4年5月1日、出血性胃潰瘍にて入院。両変形性膝関節症による拘縮、屈曲等の可動域制限及び、約2ヶ月の入院に伴う下肢筋力・ADL全般の低下により、状態改善は厳しいとの見解であった。しかし、本人・御家族の「立てるようにになりたい、家で生活したい」という強い希望もあり、同年7月6日、住宅改修と並行したりハビリ継続目的で当施設へ入所となる。

在宅では長女夫婦と同居生活であり、本人・御家族の想いに寄り

添い、在宅復帰へ向けてチーム一丸となつて取り組む事となった。

【方法】

期間…令和4年7月8日～9月10日（介護・リハビリ）

- ① 立てるんバー立位・下肢筋力動作訓練
- ② スライディングボード有・無での移乗訓練
- ③ 排泄動作訓練
 - (1) 下衣動作訓練
 - (2) トイレ移乗訓練
 - (3) 継続立位動作訓練



内転筋増強訓練の様子

【結果】

	立位 動作	更衣 動作	移乗 動作	トイレ 動作	Barthel Index
入所時	不可	不可	一部 介助	オムツ	40/100
約2ヶ月後	1分	自立	自立	トイレ自立	75/100

立位・移乗動作が安定した事により、8月15日よりトイレでの排泄動作訓練開始、9月10日には日中トイレ排泄自立となる。



下肢筋力訓練

【考察】
本症例は、本人の強い思いや目標をリハ職の専門的視点で受容し、介護職と連携・共有しながら諦めずに取り組むことの重要性を再認識するケースとなった。排泄支援加算におけるスクリーンングを行い、支援計画に基づく目標を設定、多職種で共有し、段階的に立位・移乗・排泄動作訓練を行う事で、一貫性のあるアプローチに繋がった。又、自立心が強い方である為、環境調整等を交え、自身で出来る事も増やしながら、生活リハビリとしても多角的に実施。職員と共に喜び、在宅生活を想像しながら取り組む事で、



スライディングボード無し移乗訓練



スライディングボード有り移乗訓練①



スライディングボード有り移乗訓練②

精神的・身体的機能向上への相乗効果が得られたものと考ええる。Barthel Index（機能的評価）においても、約2ヶ月間で飛躍的な向上に繋がり、主に、トイレ排泄動作（排泄管理）、更に移乗・移動動作など全ての項目において向

上が見られた。令和4年11月15日、自宅退所となる。

【まとめ】

「家に帰る事よりも、やつと孫に逢える、それが何よりも嬉しいの。」在宅復帰が決まった時の本人の言

葉である。本人の思いに寄り添う事を前提としたうえで、最後まで諦めずにその方の目標と向き合い、共に取り組む事の大切さを改めて感じる事が出来る症例であった。



継続立位訓練



トイレ移乗訓練



着脱動作訓練



令和5年度 研修会

令和5年度第1回事務長部会

日 時：令和5年6月21日（水） 14：00～16：30

参加者：会場 10名 WEB 41名

テーマ

「介護DX～介護現場でのデジタル技術の利活用について～」

講 師：宮本 隆史 先生（社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者）

今回の事務長部会の講演につきまして、アンケートの結果をまとめましたのでみなさんと共有していければと存じます。

【アンケート結果】

返信 10通（会場 7 WEB 3）

1. 評価

- ・非常に良かった 5
- ・良かった 5

2. 評価

- ・よく理解できた 7
- ・どちらかと言えば理解できた 3

3. 今後、改善したほうが良いと思う項目

- ・特になし
- ・時間開催場所には問題ない
- ・現状で問題ありません

4. 改善して欲しい理由

- ・特になし

5. 次回はどのような研修会を希望しますか（テーマ・内容・講師など）

- ・次回の改定の話
- ・外国人技能実習生の指導、離職防止の手立て等

6. 本日の講師や、研修の内容について感想をお書きください

- ・参考になりました。
- ・今後の介護環境には大変必要だと感じました。
- ・スマート介護士資格所有していますので、テキスト片手に興味深く話を聴けました。



・今回の研修も可能ならば後日期間限定でY o u T u b e 配信をして頂きたいです。

(複数の職員に研修参加していただきたいため)。

・なるほど、単に介護事業経営だけでなく、開発や人材育成を手掛ける法人なんですね。そう言えば、善光会さんが手掛けているスマート介護士の案内が届いたことを思い出しました・・・正直なところ、「そこまでしなくても介護人材は養成できる」と考えたものでした。

・ラボを設立され、メーカーを引き連れて現場に見合ったロボット開発を手掛けてくださっていることに感謝いたします。すぐにつかいたくなるようなロボットが登場するかもしれませんね。

また、ロボットやI C T導入に費用をかけない仕組みを考えていらっしゃいました。初期費用とランニングコストは機器導入の際に欠かせない着眼点です。

「金はかけなくても、いいものがある」アンテナを伸ばして、介護環境づくりに精を出します。

・介護現場でのI C T活用には若干の抵抗感があった(人と人との関係性が重要)が、今後介護人材の激減が見込まれる中、介護ロボットやS C O Pの利活用は喫緊の課題であると改めて考えさせられた。これから法人全体でI C T活用をどのように進めていかねばならないか検討すべきと提案したい。

今回の研修を受けて介護現場のデジタル化は必ず必要になると強く再認識しました。

当施設もですが、人手不足は実際に起きているわけであって今後、介護業界だけではなく、どの業界も直面する問題になると思います。今よりも厳しくなる人材確保の環境でデジタル化が進んでいる施設とそうでない施設どちらで働きたいかとなると確実に進んでいる施設になるかと思います。

そのような環境の中で、デジタル機器を使えるようになる職員の教育も同時に進めていくことも大切だと思いました。また設備を揃えるにしても便利な機器等を集中的に管理できる環境が重要であると思いました。



令和5年度第1回給食部会

日時：令和5年7月12日（水）14：00～16：00（質疑応答を含む）

会場：ハイブリッド方式（会場及びZoom等による配信）

参加者：48名（Zoom41名 会場7名）

アンケート：16名（会場来場1名、Zoom13名、You Tube2名）

テーマ

「対象に合わせた栄養ケア計画書の書き方を考える」

講師：森光 大 先生（川崎医科大学総合医療センター栄養部 管理栄養士）

【アンケート結果】

1. 評価

- ・非常に良かった 12
- ・よかった 4

2. 理解

- ・よく理解できた 12
- ・どちらかというと理解できた 4

3. 今後、改善したほうが良いと思う項目

- ・時間帯 2
- ・Zoom 1

4. 改善して欲しい理由

- ・時間帯：アーカイブで視聴できるようにして欲しい（何度も繰り返し内容確認ができるため）

5. 次回はどのような研修会を希望しますか（テーマ・内容・講師など）

- ・ソフト食やとろみなどの嚥下の状況について
- ・介護報酬改定に関する栄養部間に関して
- ・今回のようなお話を何度でも聴かせて頂きたい
- ・嚥下機能レベルをどのようにすれば向上できるのか
- ・食欲のない方へのアプローチ、食事内容など
- ・加算をうまく取れるようにするにはどのようにすれば良いか具体的に教えて欲しい
- ・ミールラウンドについて
- ・認知症や食べられない方へのアプローチや栄養管理の方法など
- ・ターミナル期の食事について、また、終末期にどのようなかわり方をされているのか聞いてみたいです
- ・高齢者の摂食不良へのアプローチ（原因別で）
- ・口腔、嚥下について
- ・他部署との連携の取り方
- ・褥瘡マネジメント加算の栄養改善の記入内容
- ・高齢者の水分管理について（経腸栄養食含み）



- ・嚥下障害がみられる方への食事の工夫や提供方法

6. 本日の講師や、研修の内容についての感想

- ・森光先生のご講演を拝聴するのは何回目かだったのですが、お話が分かり易くすぐに現場で実践できそうなことで、本当にありがたかったです。以前は、会場に出向いての研修となると移動時間や手段、施設を不在にする間の準備などが大変で少し億劫な部分もありましたが、Zoom 研修ですと施設内にいながらなので、何かあったときは対応ができたり時間のロスもなく大変有意義でした。今後も Zoom 研修の継続を希望いたします。
- ・先生のお話が砕けたお話の仕方であったこともありますが、内容も大変分かりやすく最初から最後まで興味深く拝聴させて頂きました。また、Zoom と YouTube でも参加できるようにして頂けて大変参加しやすかったです。当初 Zoom で参加する予定でしたが、こちらのパソコンの調子が悪く開始 30 分後によりややくつながることが出来たので、今回は YouTube で見られるようにして頂けて助かりました。ありがとうございました。
- ・栄養ケア計画の書き方についての研修会自体が珍しく、ぜひ受講したいと思い参加させて頂きました。常日頃の業務にすぐ活用できる内容であり、かつ分かり易く教えて下さり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・カメラをオンにする場合は、余裕を持って案内をしてもらったほうが良かったのではないかと感じた。
- ・研修内容がとても分かりやすく、事例も複数取り上げてくださり、イメージしやすかったです。
- ・講師の先生の料理のお話も興味深く聞かせて頂きました。
- ・栄養ケア計画書に関して、これでいいのかな？ みんなどんなふうに行っているんだろうと気になっていたもので、非常に勉強になりました。早速真似をして、自分のオリジナルを作っていけたらと思います。また、自分はかしこまった表現を無理に使おうとしていたのだなと感じました。自分の表現で、利用者さまやご家族にわかりやすい計画書を作ろうと思います。大変、勉強させて頂きました。またぜひお願いしたいです。ありがとうございました。
- ・実際の対象者に対しての栄養ケア計画書（基本的な考え方）でこれからコピー、アレンジ、オリジナルできそうです。貴重なお話ありがとうございました。
- ・栄養ケア計画書や経口維持加算の書き方について、現在実施している計画書の再確認もでき、また新たな視線もでき勉強になりました。
- ・計画書作成について、改めてポイントを学ぶことができ、今後の業務に活かしていけたらと思います。
- ・栄養ケア計画書の書き方のポイントが大変勉強になりました。またミールラウンド時のチェックポイントも参考になったのでこれから活かしていきたいです。
- ・内容がとても具体的でわかりやすかったです。経験が浅く、計画書の書き方に現状のままでもいいのかと考えていたため、とても勉強になりました。まずは先生の書いていることを真似しながら少しずつ自分のやり方で計画書を作っていけたらと思います。
- ・役に立ちました。参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・料理が好きな方なんだと思いました。計画書の記入法はとても参考になりました。
- ・コロナ禍で研修参加も控えており、他施設の栄養士との意見交換や交流もなかったので栄養ケア計画書の内容も自信がなかったです。対象者に合わせて具体的な計画内容を教えていただき大変参考になりました。学んだ内容を栄養ケア計画書に活かしていきます。ありがとうございました。

協会だより

令和5年8月～

- **令和5年度第1回介護ロボット普及に関する連絡会**
開催日：令和5年8月23日(水)10:00～11:30
場 所：かごしま県民交流センター
- **令和5年度第1回介護助手に係る企画評価委員会**
開催日：令和5年8月23日(水)14:00～16:00
場 所：医師会館3階中ホール
外部コンサルタント：久留須 直也 准教授(鹿児島女子短期大学)
- **令和5年度「介護施設等外国人留学生支援事業」等に関する関係機関との意見交換会議**
開催日：令和5年8月29日(火)10:00～12:00
開催方法：オンライン
- **令和5年度第1回在宅ケア・支援相談部会**
開催日：令和5年8月29日(火)14:00～16:00
(質疑応答を含む)
場 所：医師会館3階中ホール及び Zoom・YouTube による配信
テーマ：「生きる」を支える地域のサポート
講 師：堀之内 克行 先生
(社会福祉法人高齢者介護予防協会かごしま 業務課長)
- **令和5年度第1回 PT・OT・ST 部会**
開催日：令和5年9月13日(水)14:00～16:00
(質疑応答を含む)
場 所：医師会館3階中ホール及び Zoom・YouTube による配信
テーマ：「ケアに活かす環境づくり～インテリアリハビリテーション®の概念と実践方法～」
講 師：池田 由里子 先生(株式会社リハブインテリアズ 代表取締役)
- **第28回鹿児島県介護老人保健施設大会**
開催日：令和6年2月27日(火)～28日(水)(予定)
場 所：鹿児島県医師会館3階及び4階
テーマ：未来を創る 老健チャレンジ～働き手クライシスに打ち克つ～
特別講演：令和6年2月27日(火)15:00～17:00(予定)
テーマ：2024年介護報酬改定について(仮題)
講 師：佐野 隆一郎 先生(厚生労働省老健局 老人保健課)



【ご参考】

- **第34回全国介護老人保健施設大会宮城**
開催日：令和5年11月21日(火)～22日(水)
場 所：仙台国際センター
テーマ：地域共生社会の復権と老健～デジタル化時代の絆～
- **第22回九州ブロック介護老人保健施設大会美ら沖縄**
開催日：令和6年2月1日(木)～2日(金)
場 所：沖縄コンベンションセンター
テーマ：いちやりばちよーでー老健～在宅生活支援・私たち老健の役割～

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

老健に入るためのご案内

1つの事例

入院中の父を入所させたい

【質問】 70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのようにすればいいのでしょうか。

【お答え】 介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護、リハビリに重点をおいたケアを必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1～5の認定を受けられた方です。

以上のことから、このケースは老

健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照下さい。

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には76の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらうことができます。他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くどんな老健があるのか探してみして下さい。

気軽に相談を

施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」があり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねてみて下さい。相談の形は電話でも直接足を運んで

もかまいません。

施設からは利用者ご本人とご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただき、それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いて下さい。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配いりません。

入所待機の申し込み

相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、一旦待機に入ってください。申し込み方法や待機状況は様々で、施設によっては電話での入所申し込みが可能但也有りません。ですが、老健についてより知っていただくためにも、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなれた場合には、待機中の施設へ連絡をいただくと助かります。

入所までの大まかな流れは、上記のようになります。また、ホームページも参考にしてみて下さい。

老健への入所の大まかな流れ

利用者・家族

施設探し

※老健の連絡先については、市町村役場介護保険窓口で紹介してもらうことができる他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や、本誌巻末でも連絡先を知ることができます。

電話相談

※老健には必ず「支援相談員」があり、入所等の相談に応じていますので、相談時は支援相談員を尋ねてみて下さい。

施設見学

施設の説明に併せて
・利用者の状態
・要介護度（未申請の場合はお知らせください）
・連絡先 などお尋ねします。

※施設見学の際は事前に各施設へ電話にてご連絡ください。

利用者側の入所希望+施設側の受け入れ可能判断

入所（待機）申し込み

※申し込み方法・待機状況は施設毎に異なります。施設によっては電話で入所申し込みが可能な施設もありますので、気軽にお尋ねください。しかし、老健についてより知っていただくためにも、一度施設を見学されることをおすすめします。

入所



ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.13

東川隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会代表理事



喜界島



阿伝集落の石垣

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐらなくても相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

喜界島②

魅力が詰まる集落 生活に欠かせぬ泉

前回に続いて喜界島。最近だと訪問したのが冬だったため、とにかく柑橘類が島の至る場所に実っていた。島の方と一緒に集落を歩いていたら、知人の家のものでからどうぞ、と民家の庭の木々に手を伸ばしてその場で柑橘類をたくさんちぎってくださいました。そのまま口に入れると、甘さとみずみずしさの両方が口のなかに広がり、最高の気分。

私にとって独特のゆるさと甘さが広がる島、喜界島は集落がやっぱり魅力的。その集落が形成されている場所には、生活するために欠かすことのできない泉がある。「イジュン」と呼ばれ、集落の公民館や神社の近くにあることが多い。羽里集落の泉は、幹線道路脇の一段低くなつた場所であり、神社が隣接。滝川集落は集落はずれの巨大なアカウの木の下にあつて、水汲みだけでなく木陰で涼めるような場になっていた。

小野津集落の雁股の泉は、保元元（1156）年の保元の乱に敗れた源為朝が、伊豆大島から琉球へと船出した際に喜界島沖から矢を放ち、それが落ちた場所とされている。島に上陸した為朝が矢を抜くと水が湧き出たという伝説であり、今



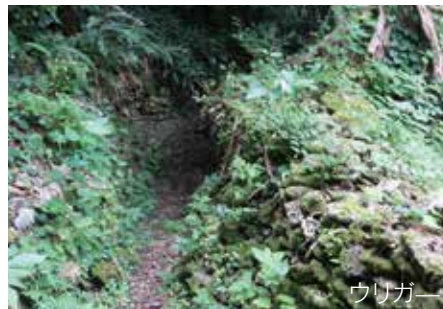
滝川の泉



末吉神社



住吉神社



ウリガー



羽里集落の泉



テーバルバンタ



ウフヤグチ



雁股の泉

でも水は枯れることなく泉に注がれている。

もちろん、泉がない集落もあり、そこでは「ウリガー」と呼ばれる井戸が掘られている。先内集落には、現役ではないが昔使用されていた井戸が、鬱蒼とした木々のなかにひっそりとある。きちんと石灰岩が積み重ねられている様子から現役当時に使われる。

また隆起石灰岩の島だけに、場所によつては鍾乳洞が形成されている。「ウフヤグチ」と呼ばれる鍾乳洞は、昔は居住の場でもあったようで、13世紀頃、つまり鎌倉期の遺物が洞窟内で発見されている。

他にも喜界島はとにかく神社も多い。阿伝集落の末吉神社には海の神が祭られ、境内には神石として信仰されている巨石がある。池治集落の住吉神社は、昔は肉食をしたひとが参拝することが禁忌とされていたという。

最後に私が一押し場所を紹介。テーバルバンタと呼ばれる約8万年前の段丘面を望める場所が百之台近くにある。すばらしい眺望とともに隆起する島、喜界島を体感できる場所である。

(ひがしかわ・りゅうたろう) 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島島の魅力を伝える活動を行っている。

こぼれおちた

ものもの

37

三角 みづ紀



夏の道を自転車で走っていた。

自宅より二キロくらい離れた川沿を
目指して。川沿は川に沿った町
で、文字通りの地名を持つ。日射
しが強く、風も強い日で、いか
にも札幌の夏らしい日曜日。ポ
プラの綿毛が落下して積もり、
雪のようだ。

わたしが住む町は真駒内とい
う名前で、アイヌ語が由来との
こと。文字は場所をあらわして
いる。ひとの名前も、ひととな
りをあらわすのだろうか。

もちろん季節も名前で、一定
の時期をさしめしている。け
れど、土地によってはじまりも
おしまいも違う。今年はうんざ
りする暑さだが、お盆を過ぎた
あたりで札幌の夏は終わり、秋
になる。

雪の白さが好きだ。ずっと冬で
いいと願うほど。でも、ここでは
夏が儚い存在で、苦手な暑い季節
もちよつと好きになった。住むと
ころの環境で好みが変わるのは、

名前って、命だ



正直ゆえと自らを正当化してみる。
わがままとも言える。

夏を夏と、秋を秋と呼びはじめ
たひとが誰なのかは知らないが、

情景をとっても汲み取っていると思
う。しつくりくる文字だ。しかし夏
を冬と名付けて、それがあたりま
えに用いられてきたのなら、夏は
冬と呼ばれる季節になっただろう。

六年前に、戸籍上のわたしの苗
字は三角ではなくなった。しかれ
ども長らく三角で生きてきたので、
気持ちのなかでは旧姓のままだ。

進む道は緑にあふれていて、風
で揺れる葉の音が波みたい。それ
らも言葉が原点となつていくか
ら、感覚を掬いとることができ
る。言葉のない世界を想像する。もし、
すべてに名前がなかったら。

自転車を漕ぐ足をやすませて、
汗を拭う。持参した水筒を取りだ
し、麦茶を飲む。氷を入れていた
のに、もう溶けてしまつてい

わたしたちと同じく自転車に乗
るひとびとや、老夫婦が散歩して
いる休日の昼下がりに、光をうけ
た木々が地面にちらちらと模様を
描く。

少し前を走っている夫の名前を
忘れそうになつて、こわくなる。
言葉のない世界で、わたしは彼を
何と呼ぶのかな。彼、という名称
もないかもしれないのに。

文字を扱い、言葉に頼つて、詩
を書いていくわたしの言語がすつ
ぽり抜け落ちたら、とたんに風景
が色を損ない、音も消える。あら
ゆるものが静止して、温度を失つ
ていく。

否定するために、自転車をふた
たび走らせる。言葉のない世界を
振り切る速度で。

「ふつう」

寄りかかつて生きることの
眩さや危うさに触れながら
わたしたちは名前があつて
お互いを認識して呼吸する
それすらも当然ではなくて
空を見上げたら空があつた
空と呼ばれる広さがあつた

名前って、命だ。ひとも、町も、
植物も、季節や月日すら名付けら
れて生きている。そう考えたら、
詩人と名乗る自分の行為ひとつひ
とつがひどく重くなり、全身にの
しかかつてくる。

喪失しそうな瞬間、自転車をと
めた夫が、わたしの名前を呼ぶ。
汗がたくさんでているよ。心配す
る声とともに覗き込む。直後、世
界が息をふきかえし、鮮やかな日
曜日を取り戻す。

ぜんぶに呼び名があることに感
謝しつつ、自分にとって正しい言
葉なのかを疑いながら、慎重に、
心地よい夏の道を進んでいく。

三角みづ紀(みすみ・みづき) 1981年鹿児島
市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現
代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2
詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多
数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の
詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制
作する等、あらゆる表現を現代詩として発信して
いる。第22回(平成26年度)萩原明太郎賞受賞。



学校のシンボルだったセンダンの木（左）は、新しい施設を見守る



↑職員室と校長室だったスペースを改装した「コワーキングスペース」は1人から使用可能。



幼稚園の園舎跡にオープンしたカフェ。
オリジナルの緑茶やしんこ団子を味わえる



キッチンスペースは料理のワーク
ショップをはじめ商品開発のテスト
キッチンとしても使える

「日日nova」(日置市日吉町日置)

吉の頭文字の「日日」と、ラテン語で「新しい」を意味する「nova」を組み合わせた。人々が出会い、新たなものを創り出す「日々の場」に、との思いを込めているという。

日吉小は2021年に閉校し、土地建物は地元の小正醸造が所有している。LRは教室を改装してワークスペースとして活用。家庭科室はテーブルの高さを調節してキッチンスペースにするなど大変させている。

付属幼稚園だった建物ではカフェを展開。オリジ

廃校跡が新たな地域拠点

日置市日吉町で廃校になった日吉小学校跡を活用したコミュニティ施設「日日novaひびのば」が6月オープンした。貸しワークスペースやカフェなどを備え、地域の情報発信拠点を目指している。

ふるさと納税のサポートをしているLR(本社日置市、末永祐馬代表)が運営。施設名は日置と日

ナル緑茶やほうじ茶ラテ、コーヒーなどを楽しめる。日吉が発祥とされる「しんこ団子」をイメージした団子も味わえる。また保健室を改装した「相談薬タマルバ」も開設。健康相談や漢方の提案などを地元の薬剤師が行っている。

芝生に覆われた校庭は子どもたちが遊ぶ姿が見られ、地域に開かれた施

設となっている。

LR商品企画開発部の山下友さん(41)は「地域の交流拠点として、地域のみなさんと一緒に活用を考えていきたい」と話す。

営業時間はコワーキングスペースが午前9時～午後6時(土日祝日は会員のみのみ)。カフェは平日午前11時～午後3時、土日祝日は午後5時まで。問い合わせや予約は<http://hibinova.com/>。直通電話はない。

(編集委員・米森)

ふひのば「フォーカス」

ろうけん広場

夏の霧島で

この夏、涼しさを求めて霧島を散策してみました。平地よりも3、4度温度が低く爽やか。普段見られない、いろいろなものと出会いました。

霧島市霧島田口の「星野リゾート界霧島」の横を通る道路からの眺望です。天気の良い日は姿の美しい桜島と鹿児島湾が望めます。お勧めの穴場スポットかもしれません。



霧島田口の国有林伐採地跡で多様性のある森づくりが進んでいます。そこでうなり声を上げて目が赤く光る不気味な生き物、と遭遇しました。植樹したヤマザクラやヤマボウシなどの苗を食べるシカを撃退するオオカミ？ つくりものとはいえ結構怖いです。

霧島の山で出会うシカたちはかわいいのですが、植物の新芽などを餌としています。食害は困りものです。しかし、シカの駆除は簡単ではなく、住民にとっても頭の痛いところです。

(編集委員・米森)





千葉しのぶさん

秋編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。
「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。
2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



「サバのみそ煮」は「サバみそ」と呼ばれ親しまれている定番の家庭料理です。脂がのった身に甘いみそ味の煮汁がよくしみ込みます。三枚おろしの切り身で作った方が食べやすいのですが、骨をつけた二枚おろしの方が旨みが強いと好む人もいます。

レシピ
4人分

- サバ切り身 50㌔×8切れ
- ショウガ 20㌔
- 酒 100cc
- 水 200cc
- 砂糖・麦みそ 各大さじ2
- 濃い口しょうゆ 小さじ1 (好みで)

- ① サバ切り身はさっと水洗いし、キッチンペーパーで水気をふく。ショウガは薄切りにする。
- ② なべに酒と水、ショウガを入れ、沸騰したらサバは皮を上にして加える。中火で煮汁をサバにかけながら5分煮たら、砂糖・麦みそを加える。麦みそは煮汁で溶いてから加えるとよい。5分煮たら味見して、好みで濃い口しょうゆを加え、火を止めて味をしみ込ませる。
- ③ 食べる直前に再度火にかけ2、3分煮たら、サバをショウガとともに皿に盛り、残った煮汁を少し煮詰め、サバの上からかける。

サバのみそ煮



麦みそは、できれば1年以上寝かせた古みそがいいでしょう。仕込んで日が浅い若いみそは、仕上げに濃い口しょうゆを足すと味が決まります。

柿の白あえ



豆腐や小松菜はしっかり水切りし、食べる直前にあえましょう。

柿の実がたわわに実る季節です。幼い頃、柿は買うものではなく、庭の木からちぎったり、もらったりするものでした。渋柿か甘柿かわからず試しにガリッとかんだら、口中に渋がはりつき閉口したことも懐かしい思い出です。サクサクした食感の柿は豆腐の衣で白あえにしてもおいしいです。すりごまの風味とクリーミーな口当たりのあえ衣が柿の甘みによく合います。小松菜もあえて彩りよく仕上げてみました。

レシピ
4人分

- 柿 1/2個
- 小松菜 150㌔
- 木綿豆腐 1/2丁
- 白ごま 大さじ2
- 砂糖・麦みそ 各 大さじ2

- ① 木綿豆腐は2㌔厚さに切り、キッチンペーパー等で包んで水切りする。
- ② 小松菜は、塩少々を入れた湯で、茎のシャキシャキ感が残る程度にゆで、水にとり、しっかり絞る。1、2㌔長さに切り、更に絞って水けをとる。柿は食感が残る程度の短冊切りにする。
- ③ 白ごまはフライパンで乾煎りし、すり鉢で粒がなくなるくらいまですり、砂糖、麦みそ、豆腐の順ですり混ぜる。クリーム状になったら柿と小松菜をあえる。

介護用品 あれこれ

推奨福祉用具のご紹介

～携帯型聴覚サポート機器「comuoon pocket」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

2019 年の日本の難聴者数は、65 歳以上の高齢者の半数にあたる約 1,430 万人に上るとい
うデータがあります。さらに、80 歳以上の男性の 84%、女性では 73%が難聴を発症してい
るという報告もあり、高齢社会の大きな課題となっております。

このような状況にありながら、日本の補聴器の使用率は 14.1% と欧米に比べかなり低い状
況です。その理由として、補聴器装用による恥ずかしさ、小さいため操作性が悪い、片側で平
均 10 万円以上と高額であるということなどがあります。

今回紹介します comuoon pocket は、このような問題を払拭するため、持ち運びしやすく、
シンプルでスタイリッシュな携帯型聴覚サポート機器として開発されました。

comuoon pocket の特徴

- ①ユニバーサル・サウンドデザイン社独自特許の「超高精細化技術」(SonicBrain®)により、
聞き取りやすく、脳が音声処理しやすい音響特性を実現。
- ②デュアルマイクで集音環境を最適化。
- ③高級オーディオレベルの音質を追求。
- ④医療機関の協力により有用を確認済み。

comuoon[®]
pocket



comuoonシリーズのデザインコンセプトはそのままに
シンプルでスタイリッシュなデザインとしました。

comuoon pocket の主な機能

①5 種のシーン切り替えモードを搭載

社内での会話、会議での複数人の声、女性の声、男性の声、特性なしモード、を活用し様々な環境に合わせて最適な聴き取りを実現します。

②2 つの用途別のマイクを搭載

音源を的確に集音するイヤホン部に設置されたマイク。周辺の騒音をカットし、音声の集音効果を高めるために本体に設置されたマイクを状況に合わせて切り替えることで最適なマイクが選択できます。

③約 48 時間のバッテリー駆動を実現

内蔵バッテリーによる充電式タイプを採用。ボリュームレベル 3 であれば約 48 時間の連続使用が可能です。(最大ボリュームで使用の場合約 9 時間の連続使用可能)

終わりに

ご自宅でのご家族とのコミュニケーション、テレビの視聴、屋外・外出先での利用、車内での会話、会議・打ち合わせなどのビジネスシーンなど、難聴者の方々の社会参加の困難さを解決し、コミュニケーション障害による高齢者の方々の引きこもりを予防し、認知症の発生リスクを軽減するための機器としてぜひ活用していただければと思います。

今回ご紹介しました comuoon pocket の正式発売日は 2023 年 11 月 10 日、製品価格は消費税込みで 129,800 円となっております。

文章・イラスト引用

・ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社「comuoon pocket 説明資料」

・ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 HP <https://cpos.u-s-d.co.jp/detail/CSS-10CP>



あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良

〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘

〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分

〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鵜木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分

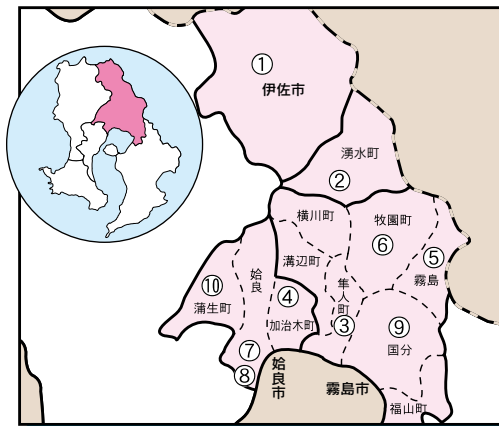


⑩ろうけん大楠

〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと

〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑

〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里



③希望の里

〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木

〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)



⑤きりしま

〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ

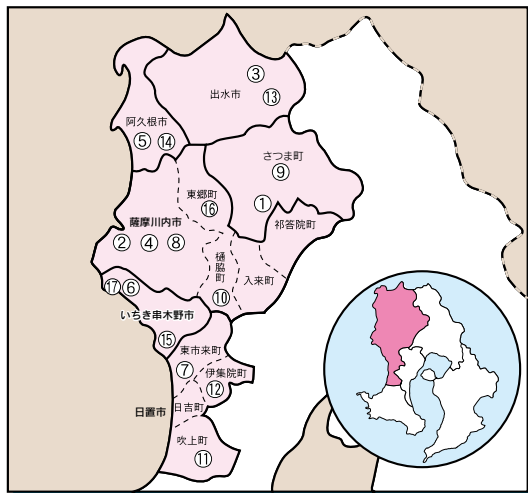


⑥サンライトホーム

〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療護施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ

〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ



②あじさい苑

〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出合い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂



②スイートケアなかよし
〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井整形外科内科中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑
〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

前原総合医療病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノはたるの里
〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノはたるの里



⑩グラン・ベリテひわき
〒895-0011 薩摩川内市天辰町1512番地1
☎0996-29-5900 FAX 0996-29-5910

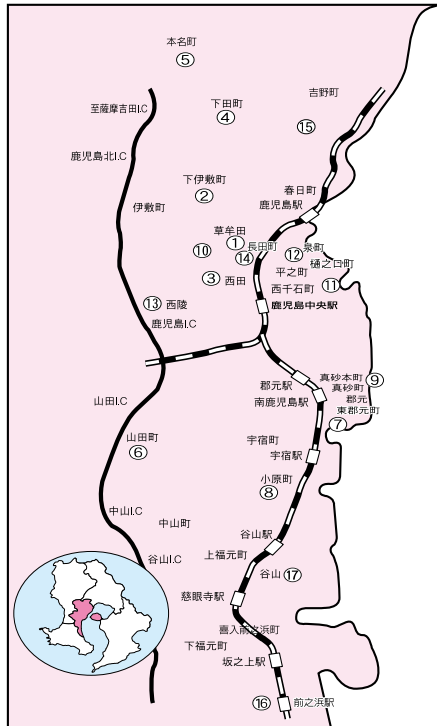
市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

ケアプランセンター木蓮
ヘルパーステーション ゆうばえ



⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)



⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセル天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



⑦おさしお

〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら
長崎内科
陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン

〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑

〒891-2124 垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ

〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた

〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゅうクリニック
訪問看護ステーションふるる
居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑

〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立訪問看護ステーション
曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆

〒891-2104 垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南 薩 地 区



①指宿温泉菜の花苑

〒891-0402 指宿市十町418-1
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム

〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり

〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

鹿屋訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所ひだまり



③ケアセンターやごろう苑

〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院
大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑

〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぼぼ



⑤ヴィラかのや

〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

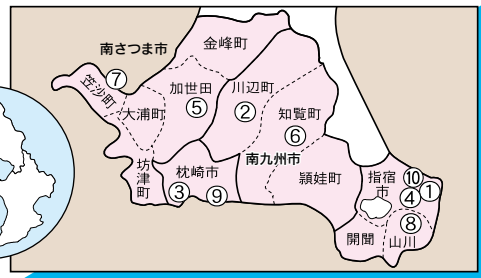
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

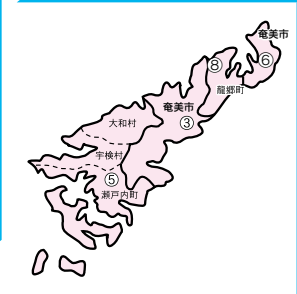
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会



全国高校総合文化祭から熱い力を

祝 迫 正 豊

今年の夏も猛暑だった。

5月の県美術展が終わり、6月からは制作のマンネリから脱皮したいと、300号(195×345センチ)の大作に挑んだ。大きなキャンバスはやはり手強い。それでも絵の完成が楽しみだ。

ところが、前向きに張り切っていた矢先、コロナに感染！38度台の熱が3、4日続き辛かった。結局、発熱が収まった後も味覚障害が残り、食欲不振も長引いた。

コロナ感染微増が気がかかりな中、第47回全国高校総合文化祭(2023かごしま総文)が、県内8市町で開催された。会期は7日間、全国各地から約2万人の高校生や関係者が集まった。

「紬(つむ)ぐ・キバる・輝く」が大会の基本方針。文化系の高校生が主役となり、吹奏楽、美術・工芸、郷土芸能、囲碁、将棋など19部門、それに特別支援学校、茶道、軽音楽の協賛部門の発表があった。

全てが高校生の力によるものだ。大会マスコットキャラクター「かごまる」は高校1年生のデザイン。大会ソング「にじいろの結晶」の作詞、作曲とも高校生。二人は小学校、中学校時代からの趣味、課題が高校になって花開いた。各部門、開催会場には一般や中学生の来場があり、文化部系の活動、高校生のエネルギー、そして凄さを身近に感じてもらえたようだ。

「高校生は凄い」と教師時代から思っていたので大変嬉しくなった。この夏は、この「2023かごしま総文」から力をもった気がする。高校時代、美術部だったことを懐かしみ、創造性豊かな高校生、教え子たちを思い出す機会、熱い夏となった。

今回の表紙絵は「時の累積、23」と題する油絵。

巨岩が空に浮かんでいて不安な空気、私の心情を描いた。岩盤の間に青年と犬が寄り添って立っている。未来を見つめる若者の熱い視線を感じてもらおうと嬉しい。

作品は第69回県美術展出品、S50号、会員賞作品



表紙絵「時の累積、23」
S50号



●作家略歴：祝迫 正豊(いわいざこ まさとよ)

- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞(最高賞)
- 1992年 第77回二科展「二科賞」(最高賞)、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展(全国巡回)
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待(マドリッド市)
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇今月号「ふるさとフォーカス」では、廃校跡を生かした「日ノノヴァ(ひびのば)」を取材。校舎跡は地域の交流拠点に変身していました。施設を回ると、廃校への感傷より若い人たちが頑張る姿に心がウキウキしました。

◇コロナ禍を超えて「かごしま国体」と「かごしま大会」(特別全国障害者大会)が10月開かれます。前回1972年の太陽国体から半世紀超が過ぎました。当時筆者は高校1年。前年にブラズバンドの行進の練習をした覚えはありますが、大会本番のことは記憶の彼方です。今回は選手たちの活躍をしっかりと目に焼き付けたいと思います。

◇太り過ぎのためダイエット中です。まず大好きなアルコールと夜の交流をやめました。少しは効果があったようで体重は減りつつあります。あとどれくらい頑張ろう(我慢しよう)か。(米)

編集委員

米森 俊一(県老人保健施設協会理事)
加治屋 洋(さるびあ苑)
谷山 尚(さくらんぼ)

ろっけん鹿児島 (令和5年秋号)

令和5年10月1日発行 通巻113号 無料

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

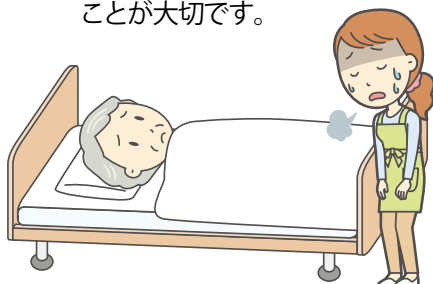


〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F
電話099(909)1047 FAX099(909)1049
E-mail:k-roken@pc.minc.ne.jp
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

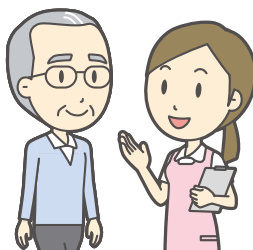
理解

虐待が起きる要因は様々です。
介護する側・される側
双方の不安や悩みを理解することが大切です。



見守り

ご近所に気になる
高齢者や介護をして
いる家族がいたら、ち
よつとした声かけをお願いします。



相談

困りごとを抱えてい
る高齢者や家族が
いたら、地域包括支
援センター等への相談を勧めま
しょう。



地域や介護事業所の方

『虐待かもしれない…?』と思ったら！

お住まいの

市役所・
町村役場

または

地域包括
支援センター

に

迷わずご相談ください。

※市町村や地域包括支援センターの職員には、守秘義務が課されています。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

認知症に関する相談

〔公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部〕

(相談日／月～金 10:00～16:00) ※祝日、年末年始は除きます。

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010 (若年性認知症相談窓口)